

■2010年頃から多くなって来た水彩タッチは、デジタルプリント表現での表現が定番化している。また、昨年より増えているジオメトリックパターンには、和の雰囲気を感じる物が圧倒的に増えて来ている。この傾向は同様に、イカット・タイダイ表現にも、顕著に表れている。今年の新しい傾向は、ラインをアクセントに使ったパターン。もう一つの傾向としては、昨年登場したパターンに、積極的にカラーが持ち込まれている点だと思う。

デジタルプリント

水彩の花柄が多く見られる。デジタルプリントによって植物が生き生きと表現されている。また、カラーパレットパターンが、デザイン要素として取り入れられているケースが増えている。



和風幾何パターン&イカット・タイダイ

昨年のジオメトリックパターンに、和のテイストが加わり広がりを見せている。モダンからポップなものまで、テスト感も幅広い。絞り・縞のパターン表現は継続。



ライン使いのバリエーション

ライン使いをアクセントに表現されたパターンが増えている。水彩+ラインでの表現と、ラインのみの表現の2通りが多い。モチーフとして建築物が多くなって来ているのも特徴。



トリックパターン

椅子・扉・カトラリーなどが、トリックパターンとしてプリントされているアイテムが、増殖中。遊び心があるこうした方が多く、インテリアを楽しみ演出。



スタンプタッチ

ハンコでスタンプした様なタッチが新穎。今年はカラフルなタッチも登場し、広がりを見せている。



■今回のM&Oでは、色々なミックススタイリングが新鮮だったと思う。従来のアイテムでもコーディネート次第で、とても魅力的に生まれ変わって見えている。昨年までは、主にガーリースタイルにミックス感が感じられたが、今年は、「アンティーク」「手作り」「テスト」など多くのコーディネートにミックス感がプラスされていたと思う。

アンティークミックススタイル

アンティーク空間や家具に、コンテンポラリーアイテムをコーディネート。素材のハーモニーで演出する場合と、カラーを上手に取り入れる演出が新鮮に感じる。



ハンドメイドミックススタイル

手作り感のあるアイテムをコーディネートのポイントにした演出。ほかに慣れ慣れした新鮮なスタイリング。



ミックスカルチャースタイル

テストをミックスしたスタイル。お気に入りのアイテムを集めてコーディネートしているイメージ。このスタイリングも、どこか懐かしさがポイントになっていると思う。



新鮮ディスプレイ

コーディネートで新鮮に映ったディスプレイの紹介。生の果物や野菜を壁面に壁として、ディスプレイ。偶然にも、トマトとレモンのディスプレイが、違う会社で提案されていた。日々見ている物でも見せ方の違いで、これ程インパクトが強くなる事が良く分かる例だと思う。

